

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による
施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート実施報告

1 目的

施設保有の見直し方針（案）説明会における、市の説明、意見交換（質疑応答）を通じて、出席者の説明内容の理解度を把握するとともに、見直し方針（案）に対する意見をいただき、見直し方針の策定及び今後の取組の参考にするため。

2 対象者

市民説明会出席者 108人

3 実施方法

配布 : 説明会会場で説明資料に同封し配布

(説明会：令和3年3月20日から27日まで、市内8会場で開催)

回答 : 同封した返信用封筒による郵送又は二次元コードからインターネット回答

回答期限：令和3年4月15日

4 回収状況

回答者数：49人

回収率 : 45% (回答者49人/出席者108人)

5 アンケート結果について（概要）

アンケートには49人の回答があり、前回と比べ回収率は高く^{※1}、全体としては公共施設の保有の見直しに対する出席者の関心の高さがうかがえます。

地域別では説明会の出席者数（7～23人）、アンケートの回答割合（14%～73%）にばらつきがあり、地域の対象施設及び取組方針の内容により、見直し方針（案）への関心度合いに差があると考えられます。

説明内容の理解度を3つ設問（問4-1～3）で確認しましたが、「理解できた」「概ね理解できた」とする回答の合計が、【保有の見直しの取組の経緯】は87%、【対象施設の見直し方針（案）】は92%と大半の方に理解いただいた半面、【実施に向けた財源の確保】は65%と比較的低い割合となりました。

これは、市では参加者の関心は個別施設の見直し方針の考え方にあると捉え、【実施に向けた財源の確保】は簡易な説明としたことも要因と捉えています。

対象施設の見直し方針（案）全体としての賛否は、「どちらかといえば賛成」を含めた賛成が67%、「どちらかといえば反対」を含めた反対は31%という回答がありました。

個別施設の在り方は、見直し方針（案）に記載の取組方針の内容が最終的な決定ではなく、見直し方針の策定後、市が利用者や関係団体との話し合いの場を持って、課題を解決しながら取組を進めていく考えであることを共通認識できたことで、見直し方針（案）全体の方向性については賛成される方が多くなったと捉えています。

自由記載欄には33人の回答がありました。

※1 令和元年度に開催した市民との意見交換会の参加者アンケート回収率は17.1%（回答19人/参加者111人）

6 アンケート集計結果

別紙「施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート 集計結果」のとおり

7 アンケート意見に対する市の考え方

別紙「施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方」のとおり

凡例

別紙「施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方」で用いる略語は、次のとおりです。

総合管理計画・・・・・・・・	公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定）
第1期中期計画・・・・・・・・	公共施設等総合管理計画第1期中期計画（平成30年6月策定）
見直し方針・・・・・・・・	公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（令和3年9月決定）

（留意事項）

※ アンケート自由記載欄の意見（33件）を、意見内容ごとに分割し、意見の数は55件としています。

※ 意見のあった項目（施設）に記載している頁数及び市の考え方に記載している頁数は、令和3年9月に決定した見直し方針の該当頁であり、パブリックコメントで公表した（案）の頁数と相違している場合があります。

[アンケート用紙（裏面）]

【問6】 説明会の前後で公共施設に対する考え方に変化はありましたか。

また、よろしければその内容や理由についてお教えてください。

1 変化があった（内容： _____ ）

2 変化はない（理由： _____ ）

Ⅲ. 公共施設に関する取組について、おたずねします。

【問7】 人口減少、少子高齢化社会の進行などを踏まえ、次世代に過度の負担を残さないようにするため、施設の建替や維持管理に関する費用の削減等の取組により財政負担の軽減を図る必要があります。

下記の取組のうち、あなたが最も重要と思われるものに一つ〇を付けてください。

取 組	回答欄
施設を改修し、できるだけ長く使う	
民間活力を活用する	
遊休資産を売却・賃貸して財源の確保を図る	
受益者負担の観点から、施設の利用料金を見直す	
利用状況や維持管理経費等の状況を踏まえながら、施設を縮小・統合・廃止する	
その他（ _____ ）	

【問8】 説明会のご感想や公共施設に関するご意見がありましたら、お聞かせください。

※アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

アンケート用紙は、次のいずれかの方法で4月15日（木）までに提出ください。

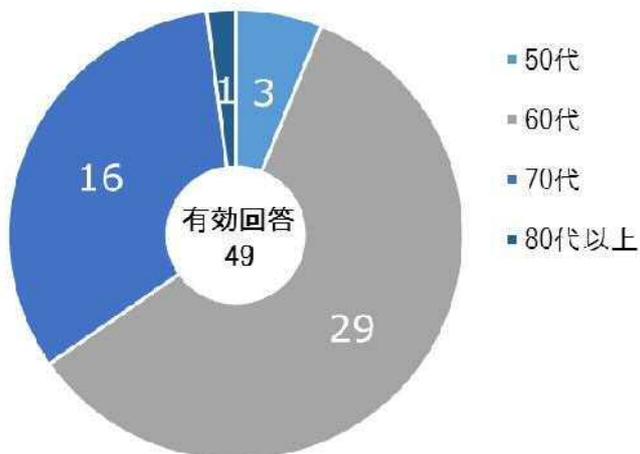
①同封の返信用封筒に封入し、ポストに投函。

②インターネット回答（二次元コードから接続） ⇒

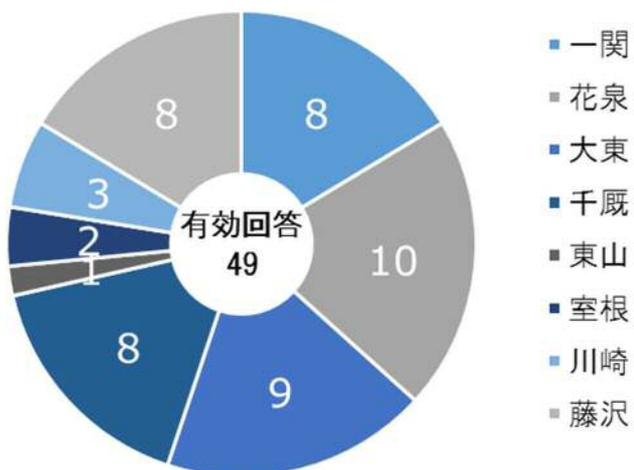


施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート 集計結果

[問1] 差し支えなければ、年齢をご回答ください。

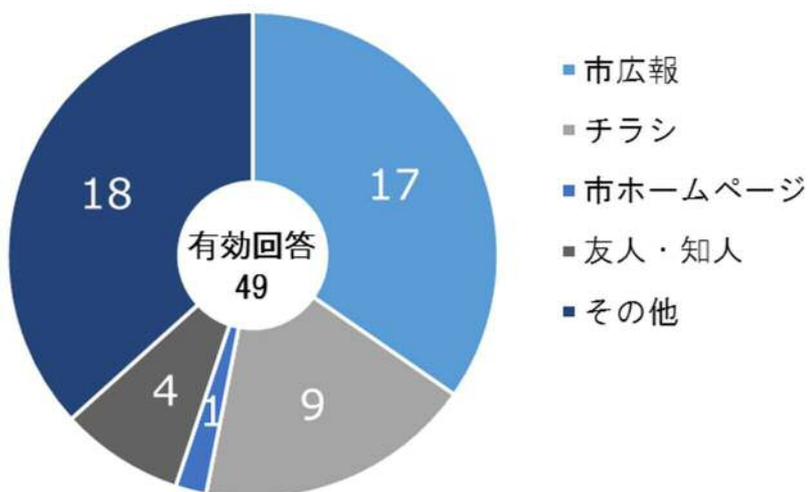


[問2] 差し支えなければ、お住いの地域をご回答ください。



地域	回答数	出席者数	回答割合
一関	8	11	73%
花泉	10	21	48%
大東	9	23	39%
千厩	8	13	62%
東山	1	7	14%
室根	2	7	29%
川崎	3	8	38%
藤沢	8	18	44%
合計	49	108	45%

[問3] 説明会の開催を何で知りましたか。



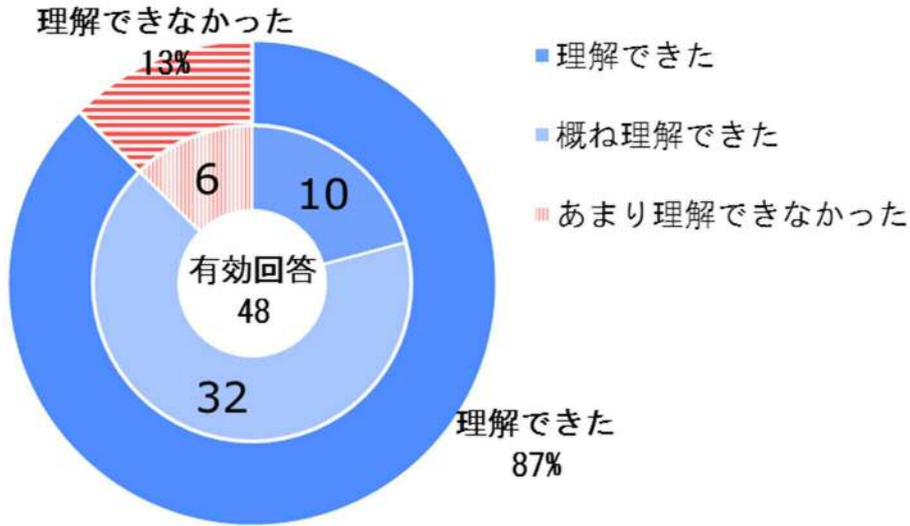
(その他の記載内容)

- ・市からの開催通知※ 13件
- ・新聞報道 4件
- ・大東メール 1件

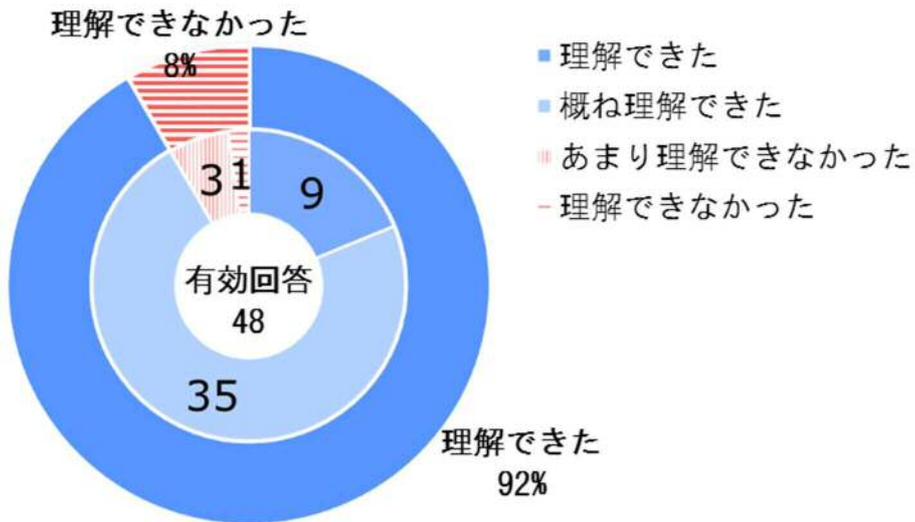
※ 「市からの開催通知」は、令和元年度に開催した「公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の保有の見直し方針の策定に向けた市民との意見交換会」に参加いただいた市内団体への開催通知です。

市民説明会は、各会場の出席者定員を定めた開催としたため、申し込みは他の出席者と同様の取扱いとしています。

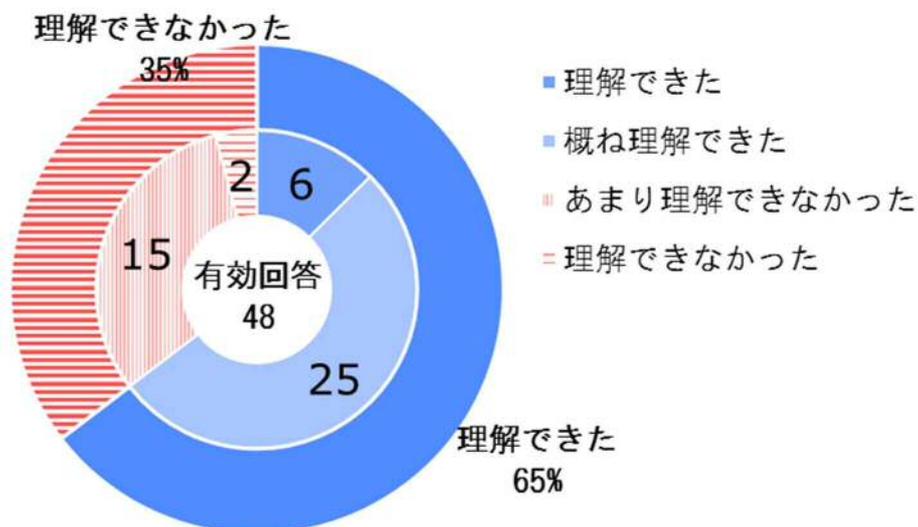
[問4-1] 説明の内容及びかがでしたか。【保有の見直しの取組の経緯】



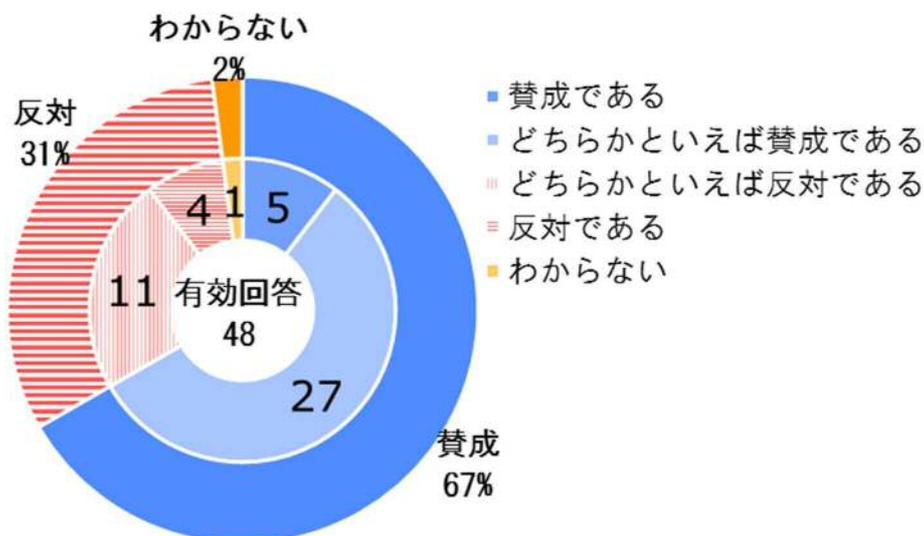
[問4-2] 説明の内容及びかがでしたか。【対象施設の見直し方針（案）】



[問4-3] 説明の内容及びかがでしたか。【実施に向けた財源の確保】



[問5] 対象施設の見直し方針（案）について、全体としてどうお考えですか。



(居住地別の回答分布)

居住地	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	(空白)	合計
一関	1	6				1	8
花泉	1	3	5	1			10
大東	2	4	3				9
千厩		7			1		8
東山		1					1
室根	1		1				2
川崎		2		1			3
藤沢		4	2	2			8
合計	5	27	11	4	1	1	49

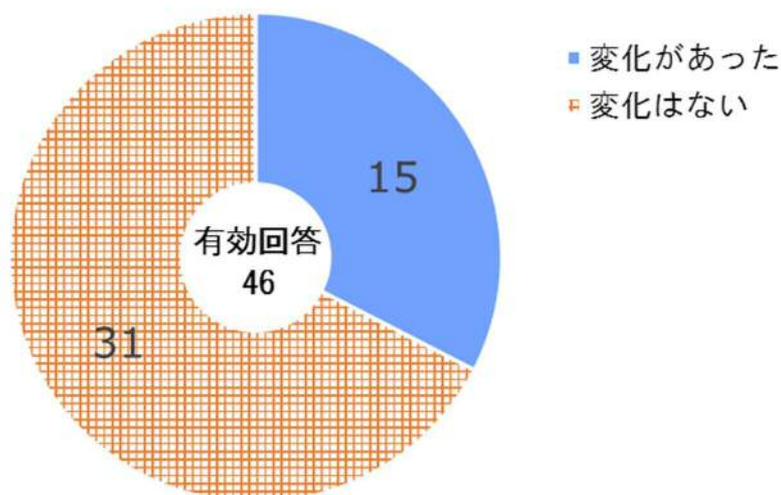
([問4-1] 保有の見直しの取組の経緯の理解度別の回答分布)

理解度	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	合計
理解できた	3	4	3			10
概ね理解できた	2	19	7	3	1	32
あまり理解できなかった		4	1	1		6
合計	5	27	11	4	1	48

([問4-2] 対象施設の見直し方針(案)の理解度別の回答分布)

理解度	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	合計
理解できた	4	2	3			9
概ね理解できた	1	23	7	3	1	35
あまり理解できなかった		2	1			3
理解できなかった				1		1
合計	5	27	11	4	1	48

〔問6〕 説明会の前後で公共施設に対する考え方に変化はありましたか。



〔問6—2〕 よろしければその内容を教えてください。

（変化があった） 13件

- ① 財政の厳しさ。
- ② 見直し箇所については、今後地域の方々とよく相談して決めてほしい。
- ③ 施設の数の多さに驚いた。
- ④ 施設の統廃合止むなしだが、代替（集約）施設が欲しい。
- ⑤ あまりの規模の大きさに驚きました。
- ⑥ 公共施設白書の理解を通して総合管理計画に盛られた延床面積3割縮減の必要性について理解を深められた。
- ⑦ 廃止と集約を大胆にすべき。
- ⑧ 質問事項に適切丁寧に対応していた。
- ⑨ 住民の利用率を知ろうとする意識が高まった。
- ⑩ 公共施設を維持管理するには、お金がかかる。
- ⑪ 地域コミュニティを基本としたい。
- ⑫ 施設保有の状況や今後の方針を知った。
- ⑬ 地域の施設の将来の存続に不安を覚えた。

（変化はない） 22件

- ① 以前から説明を受けているため、やむをえないと思っていた。根本は、市町村合併にある。もっと遡ればお金が無いことに帰する。
- ② この説明では理解できませんでした。

- ③ 説明会以前に方針案を市のホームページで確認済。
- ④ 地域における公共施設の必要性、役割など今後とも重要であると考えている。
- ⑤ まちづくりの視点が感じられない。
- ⑥ 漠然と考えていた事と概ね同じ内容だったから。
- ⑦ ワークショップ等に参加し概ね承知していた。
- ⑧ 建設当時は必要と認めており、それを財源を理由にすることには反対。
- ⑨ 想定内でした。
- ⑩ 「公共」施設というのであれば、キッチンと市が管理していくものであると考えます。
但し、今後この「公共」施設の管理方法については、継続的に進めていくためには指定管理等も含めて今後検討が必要だとは思いますが。
譲渡することで「公共」ではなく「一般・民間」施設していくことであれば、今まで「公共」であった理由を踏まえた上で、譲渡側にも理解をいただかないといけないと説明会を通じて感じました。
- ⑪ 人口減少の一方、市財政の収縮は避けられず、早めに手を入れなければならない問題だと思えます。
しかしながら、『総論賛成、各論反対』の典型で地域の意向をどう取り上げていくかが課題だと思えます。
- ⑫ 事前の方針を知っていた。
- ⑬ 地域コミュニティの事を考えていない。
- ⑭ 自分の考え方と市の説明が一致している。
- ⑮ 公共施設は必要があつて作られたもの。
- ⑯ ワークショップに参加して理解していた。
- ⑰ 少子高齢化が進む中、利用頻度の少ない箇所は止むを得ないか。
- ⑱ 公共施設は例え赤字であっても必要。
- ⑲ 時代の流れ？
- ⑳ 市の考え方はある程度は理解できる。
- ㉑ 以前の説明で理解できていた。
- ㉒ 詳細が分からない為。

〔問7〕 人口減少、少子高齢化社会の進行などを踏まえ、次世代に過度の負担を残さないようにするため、施設の建替や維持管理に関する費用の削減等の取組により財政負担の軽減を図る必要があります。

次の取組のうち、あなたが最も重要と思われるものを一つ選んでください。



（その他の記載内容） 6件

- ① 経緯、目的、地域づくりの方針を踏まえて協議する。
- ② その他以外の項目を総合的に勘案して、進めていくことが必要だと考えます。
- ③ 説明会場での意見を補足します。施設の存否一面だけを考察するのではなく、これから大きな課題となる、介護-認知予防の観点から、例えば対象施設を活用し一関市民の健康確保を体育協会には使命的に取り組んでもらう。
介護に関わる経費の低減で施設改修費用が賄われるほど真剣に取り組んでもらいたい。オリンピック出場選手の育成も良いが、更に多くの方が対象になる様に。
- ④ スクラップだけでは、書きようがない。
- ⑤ 縮小だけでなく生まれ変える必要もあるのでは？
10年後、30年後、50年後を考え、集い学べるなど将来に行かせる施設と、統合し活用する施設を。
必ず使用する施設は、改修だけではなく耐久性に問題があるのであれば、新設することも考え、将来の市民が安全安心、活力のある暮らしができるよう将来に向けた計画も必要だと思う。
- ⑥ 市全体の歳入・歳出を今一度見直す。

【問 8】 説明会のご感想や公共施設に関するご意見がありましたら、お聞かせください。

(33件)

- ① パブリックコメントを求めたが余り周知されていないと思う。受付期間は過ぎても、「施設保有の見直し方針(案)」をホームページに掲載しておいて欲しい。市民が能動的に情報にアクセスすることだけを期待せず、該当者には周知するように工夫して欲しい。市民だって話せばわかるので、話し合う機会を多く持って欲しい。
- 県境に住む高齢の人が、何時間もかけて10km以上歩いて街まで通っている。また、隣の県の街までラクターで通院していた人も過去にいました。施設から遠い市民への配慮も欲しい。物事を市役所から見るだけでなく、反対に周辺からの視点でも考えて欲しい。
- 文書やデータだけで判断せず、現場に足を運んで考えて欲しい。ちなみに、担当者は対象施設をどのくらい実際に見たことが有るのでしょうか。
- ② 本日、具体的な話を聞いたが、もっと早く個別施設への説明等が必要と思いました。
- また、数値的な裏付けも明確な資料を添付していただければ考えることが出来ると思います。
- ③ どの施設等についても、開設当初はそれなりの意義や必要性等があり作られたものと思う。
- だが、今回の見直しの中には20年以内の短期間で見直し案として出された物件もあるように思います。
- 今後、箱ものを作る時はそうしたこともふまえてしっかり検討し計画していかないと今後も同様な不満や不平等がでてくるように思います。難しいですね、施設作りというのは。
- ④ 予定時間 1時間30分のうち、およそ1時間を担当課の説明に費やしている。質疑応答の時間が短すぎる。
- 出席者から事前に住所、氏名を聴取しているのだから前もって資料を郵送するなりして説明時間を短縮すべき。もしくは、全体の時間をもっと長くしていただきたい。
- ⑤ 今般の方針を策定するに際し、一般市民の個人個人の意見もさることながら特にコミュニティ施設については、施設利用関係地域団体の意見も取りまとめ願ひ策定に反映いただきたい。
- 特に藤沢地域では、昭和50年代より各地域に自治会を組織し長年地域づくりを担ってきています。自治会ではそれぞれ自治会館を運営し地区活動に取り組んでいますが、地域コミュニティセンターは地区を超えた地域の活動拠点として地域づくりの中心施設とし

て利用されています。

自治会活動のみならず、市の関係業務はもとより老若男女各地域関連団体が幅広く活用しています。生涯学習等に関連した集まり等も開催されます。

藤沢地域では、各地区の自治会、諸団体の代表組織である藤沢町住民自治協議会が組織され市民センター、地域の自治会協議会ではコミュニティセンターの指定管理を受けています。

藤沢地域のまちづくり、コミュニティづくり、生涯学習等に関わるコミュニティ施設の見直し等の策定に際しては、対象施設の見直し方針（案）を藤沢町住民自治協議会へお示しいただき意見を求めていただきますようよろしくお願いいたします。

なお、個別の事案でたいへん恐縮ですが、保呂羽コミュニティ体育館について意見を述べさせていただきます。

保呂羽小学校の統合の際、地域住民の安全安心のための自然災害時の避難所施設として施設を存続していただいた経過もあります。

地域には4カ所の土石流危険区域があり、金越沢ダムもあります。近年の豪雨災害や地震災害をみると災害がいつどこに発生しても不思議でない状況です。

万が一ということにはなりますが、地域住民の安全安心のためにも存続活用させていただきたいと思います。

地域民のスポーツ交流、地域交流、他の地域民の利用等もあり、これから新しい施設を建設いただくということは有り得ないとも思いますので、できるだけ長く使えるようご検討をお願いします。

⑥ 中味のない箱は要らないということは正論。

しかし、中味を作り出さなければならない事柄が多くなっている。サロン活動での介護予防、放課後子ども教室での世代間交流、高付加価値農業に向けた技術開発、交流人口を作り出すための施設、ILC誘致が実現しアウトドアを好む外国人が一関の自然を楽しむキャンプ場など、地域発展のために何をすべきかを協議して協働を確かなものにするのが先で、あるものを使い切る。

みつけよう育てよう 郷土の宝 いのち輝く一関の実現を！

そして、誰もが支え合いみんなが安心して暮らせるまちづくりの実現を！

⑦ 老朽化した施設は廃止でもよいが、まだ使える施設は使用した方がよい。

⑧ 市の見直し方針（案）には基本的に賛成ですが、高倉介護予防センターは、ぜひ市民センターへの転用で検討いただきますようお願いします。

地域民の避難場所、公共施設が何もなくなります。辺境の高齢者も一市民です。

- ⑨ 保育園は入所児童数に関わらず維持の方向で市内どの地域に住んでも子育てが出来る環境を整えないと若者は定住しない。

この先の人口減が自然減と考えない。いかに若者層を増やせるか市と住民が力を合わせ努力する市であって欲しい。

- ⑩ どんな施設でも建てる目的があって建てられたもの。一度でも使えば愛着が湧いて来ると思う。むしろその施設が自分の住んでいる地域にあったら、普段使うことが無くても廃止されることに反対になる。無いよりは有った方が良くになってしまう。

一度も使ったことの無い・訪れてみたこともない施設だったら廃止になろうが譲渡しようが無関心で居られる。

施設の在り方については、感情論を入れないこと、思い入れがあっても財政が無ければ運営維持できない、断固方針を貫くべき。

ただし、代替施設の検討も併せて行って欲しい。2～3の施設を廃止したら代替となる施設を、旧市町村単位で良いから代替施設を造って欲しい。集約する形を取って欲しい。

- ⑪ 現在、(藤沢町)西口に在住していますが、体育館の維持管理は指定管理を受けていても変だと思っていましたので廃止もやむを得ないと思います。

コミセンに関しては、地域の集まる場所がなくなる事は利用状況の問題だけで判断するのは疑問です。

もう1点心配に思っている事は、現在、体育館、コミセンは避難場所に指定されていますが、災害が発生した時、地域住民はどこに避難すれば良いのでしょうか。

過疎は切捨て的に思われます。市民が生きがいを感じられる様お願いします。

- ⑫ 過日、室根支所より区長、自治会長へ対象施設の見直し案が唐突に説明された。

当地域の「4区集落センター」も対象になっており、指定管理から譲渡へ移行する計画を提示された。

心の中で、市に金(財政)がないので管理費や補助金を削り、住民サービスの縮減＝自治活動の活性化をぶち上げたいのだと理解した。今回の市民説明会に参加して、あたりはずとも遠からずであった。行政と市民が財政状況と施設の抱える課題について理解を深め、次の世代に課題を先送りしたりしないで、果敢に推進してほしい。機会をとらえて住民に情報発信に努めていきます。ありがとうございました。

- ⑬ 今あるものが変化することは希望しないと考えるが、強力に進めるべきと考える。

踏み込みが甘い。(ex)せんまや街角資料館(廃止)、花泉運動公園多目的グラウンド(廃止)、並木ヶ丘コミュニティグラウンド(廃止)、藤沢交流施設(廃止)、一関有機肥料センター(廃止、集約へ)、一関西消防署田村町分遣所(廃止)

- ⑭ 方針は理解できます。
個別の施設については、利用者団体とよく協働していただくことを期待いたします。
- ⑮ 意見でも申し上げましたが、1期の進め方は2期以降の方向性や考え方を具体的に示し、その中で改善していく必要があると思います。
今の説明では、未だ決まっていないことの方が多く、何処に進むのかが見えないということが、市民の不安として残るのではないかと考えますので、まずは具体的な展開を明らかにし、良い方向に進めるための議論を重ねていくことで、前に進んでいくと思います。
- ⑯ 地域の文化、歴史があり廃止される施設は十分な説明を求めます。
高齢化社会は以前より知っている事項であり、老人をいじめないでほしい。老後の楽しみまで奪わないでほしい。
藤沢町など合併してなにが良かったのか疑問視されていると思う。
膝をつめて話し合いが必要と思われます。
財政難は通年課題です。資産処分の対応に力を入れてほしい。
- ⑰ I-style 2月1日号で見直し方針案が示されたが、方針の概要を、たった2ページで示されても、市民にとってはパブコメ意見を述べる材料が不足。もっとページを割いて説明してほしいもの。
住民生活に身近な施設がどうなるのか。市民にとっては大きな関心のある内容について市のホームページを見ることができない人もあり、支所まで行って閲覧も困難。
最も関心の高い見直し区分を廃止・譲渡等8区分に分類した取組みの考え方について、旧市町村単位に丁寧を示すべきと思う。
「先導的な取組」対象施設の見直し方針案の個別施設の内容について、I-style折込みで居住地域の資料を示すなど広く周知に努めるべき。
- ⑱ 公共施設と各地区にある集会所の関係もあると思う。利用頻度の少ない施設はやはり維持管理の上から縮小・統合・廃止はやむを得ないと思う。これからの進捗確認を随時、広報紙や新聞に載せてほしい。
- ⑲ 進め方(説明会)であるが、開始から最初の30分間を基本的方針の説明にあて、その後、質問→個別施設(千厩)の説明→質問の順に進行していた。
参加者からすれば地域の個別施設について詳しく説明を受け、必要な範囲で基本方針の説明に戻れば良いと思います。説明の順番を逆にし、基本方針の説明はボリュームもあるので必要最小限で良いと考えます。時間の節約にもなると考えますので、次回からは一考されては。地域の個別施設毎に、「廃止」「譲渡」の方針とその内容について質疑を受け

た方が理解が深まると思います。

- ⑳ 出席者に資料を前もって送付し、確認する時間がほしかった。
開催地域の説明時間をもっとほしかった！全体的な事は資料送付で省けたと思う！
- ㉑ 築何年での見直し及び修繕・売却の考え方も良いとは思いますが、現在の施設の使用状況を最優先に考慮していただき少なくとも地域においては、コミュニティの拠点となっていることから、考慮してほしい。
- ㉒ 財政上の背景については、簡単でよい。
地域の施設について、個別に現状と課題、今後の方向性を明らかにすることに重点をおくべきではないか。
延床面積を縮減する方針下で、小規模な施設を譲渡・廃止にもっていくロジックは？
- ㉓ マスクのせいかな声が小さく聞きにくかった。
- ㉔ 市政にSDGsの考え方を打ち出しているが、公共施設の見直し案と整合性がとれているのだろうか。
住民、コミュニティを大事にする施策を望む。
見直し案にはまちづくりの理念が感じられない。
- ㉕ 説明会の説明のなかに、施設の活用状況の説明がなかった。対象施設が現在どの程度の利用があるのか、場合によっては改築の場合もあるのではないかと考える。
- ㉖ 費用削減（財政）が先行し、地域づくりがおざなり
いかにしたら人が集まるかを考えないと
使用頻度（利用状況）を考慮しないといけない
- ㉗ 知らない施設もあり、せめて名称の後にカッコ書きで地区名を入れてほしかった。
対象施設の利活用について、数値的な根拠があればもう少し理解できたかもしれない。
- ㉘ 赤字減らしの要旨は良く分かったが、将来像が伴っていない。今後どのような姿を画いているかまったく不明。「金がかかるから廃止」だけの方針では、余りにも片手落ちだと感じた。
一関市としての将来像も出すべきだ。

②⑨ わかりやすく、ていねいな説明で良かった。

大原、摺沢、興田、猿沢の各体育館は利用者が多いので、利用されている団体と良く協議する必要があると思われます。

③⑩ 市の財政面からすれば、施設を縮小・統合・廃止を考えるのは理解できるし、時代とともに施設の役割が変わることもある。しかし、行政が運営する施設は、本来、民間が運営しても、採算があわなく住民サービスが必要という観点から運営を行っているものは多い。施設評価の中で、床面積当たりの運営経費とか、利用者1人当たりの運営経費を入れるべきではないと思う。

具体的には「健康の森」の考え方でありますが、これは4つの施設があつて「宿泊研修施設」としての価値があるのに4つの施設を1つ1つ評価を行えば、本報告書のようにするのは当然であります。報告書によれば当初は4つを1つで評価していたが、最終的に4つに分けている。これは納得できないことです。

採算からみれば経費が大きいという点で何とかしたいと考えるかもしれないが、逆に市民の利用者数を多くする施策を考えるべきである。具体的に言えば、市内の学校にこの施設の積極的な利用を促すことを考えるべきと思います。

③⑪ 避難所になる施設については、一部の修繕ではなく、耐久性、安全性を考慮し有事の際であっても、市民の命を守るために市民が安全にしのごことができる計画をのぞみます。

③⑫ はじめから結論ありきではなく、対象となっている施設がある地区民と十分に話し合っ
て欲しい。

市側の事情も分かるので、地区としても納得のいくものであればそれでよい。

③⑬ それぞれの地域における公共施設の存続のあり様について、地域コミュニティの維持等に十分な配慮を必要と考える。効率性も必要ではあるが、施設の存否が地域の精神的支柱となる場合もあるので、地域住民とのていねいな協議を重ねた計画の実施を求めます。

施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
見直し方針（案）全般		
1	<p>・住民、コミュニティを大事にする施策を望む。</p>	<p>各種施策を展開するためには持続可能な財政運営の確立が必要です。 施設保有の見直しは、真に必要な公共施設を将来にわたり維持していくため、また、必要な機能は確保したうえで、施設保有量の最適化を図るための取り組みです。 コミュニティ維持の施策に取り組むべきとの内容をご意見として承ります。</p>
2	<p>・中味のない箱は要らないということは正論。 しかし、中味を作り出さなければならない事柄が多くなっている。サロン活動での介護予防、放課後子ども教室での世代間交流、高付加価値農業に向けた技術開発、交流人口を作り出すための施設、ILC誘致が実現しアウトドアを好む外国人が一関の自然を楽しめるキャンプ場など、地域発展のために何をすべきかを協議して協働を確かなものにするのが先で、あるものを使い切る。 みつけよう育てよう 郷土の宝 いのち輝く一関の実現を！ そして、誰もが支え合いみんなが安心して暮らせるまちづくりの実現を！</p>	<p>まちづくりの視点は公共施設等総合管理計画においても重要な要素と考えており、総合管理計画においても、公共施設等の管理に関する基本的な方針の一つに「まちづくりの視点」を定めています。 また、見直し方針9頁、2先導的な取組の実施の(5)具体的な取組の「② 公共施設の保有の見直しに関する合意形成の手順」でも、個別施設の利用者等との話し合いにおいて考慮する要素としています。</p> <p>第1期中期計画において、先導的な取組の今後の方向性の検討の視点の一つに「建物と機能を切り離して考える」を掲げています。</p>
3	<p>・見直し案には、まちづくりの理念が感じられない。</p>	<p>具体的な取組にあたっては、今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行っていきますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。</p>
4	<p>・費用削減（財政）が先行し、地域づくりがおざなりである。いかにしたら人が集まるかを考えないと。</p>	<p>（第1期中期計画抜粋） c. 建物と機能を切り離して考える</p>
5	<p>・赤字減らしの要旨は良く分かったが、将来像が伴っていない。今後どのような姿を画いているかまったく不明。「金がかかるから廃止」だけの方針では、余りにも片手落ちだと感じた。 一関市としての将来像も出すべきだ。</p>	<p>公共施設で提供されるサービスは、必ずしも「建物（ハード）」と一体でなければできないわけではありません。公共施設の保有の見直しを進めるにあたっては、「建物（ハード）」と「サービス・機能（ソフト）」を切り離して考えることが重要です。「建物（ハード）＝サービス・機能（ソフト）」というこれまでの考え方から、建物に依存せずにサービスを重視した考え方に発想を転換し、いかに建物を持たずにサービスを提供していくか、残していく建物をいかに活用していくかを検討する必要があります。また、民間保有の施設の活用についても可能性を検討する必要があります。必要なサービス・機能を検討し、それらを提供していくための効率の良い施設配置に見直します。 併せて、必要な行政サービスの水準についても見直しが必要です。</p>
6	<p>・踏み込みが甘い（ex）せんまや街角資料館（廃止）、花泉運動公園多目的グラウンド（廃止）、並木ヶ丘コミュニティグラウンド（廃止）、藤沢交流施設（廃止）、一関有機肥料センター（廃止、集約へ）、一関西消防署田村町分遣所（廃止）</p>	<p>更なる保有縮減の考えが必要ではないかとのご意見として承ります。</p>
7	<p>・方針は理解できる。</p>	<p>今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行っていきますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。</p>

施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
8	・高齢化社会は以前より知っている事項であり、老人をいじめないでほしい。老後の楽しみまで奪わないでほしい。	各種施策を展開するためには持続可能な財政運営の確立が必要です。 施設保有の見直しは、真に必要な公共施設を将来にわたり維持していくため、また、必要な機能は確保したうえで、施設保有量の最適化を図るための取り組みです。 高齢者福祉分野に取り組むべきとの内容をご意見として承ります。
9	・財政難は通年課題です。資産処分の対応に力を入れてほしい。	見直し方針62頁、4実施に向けた財源の確保についての「(2) 行財政改革の視点の堅持」で未利用公有財産の積極的な処分に取り組むこととしています。
10	・延床面積を縮減する方針下で、小規模な施設を譲渡・廃止にもっていくロジックは？	見直し方針2頁に施設保有の見直しの重点の1つに「地域コミュニティ拠点の総合化」があり、地域の中核施設に機能を集約化していく考えとしています。 また、見直し方針4頁の2先導的な取組の実施の(1)検討対象施設の抽出において、小規模な施設は集約先の候補となる可能性が低いことから、今後の更新は行わない前提で施設保有の見直しを検討することとしています。 小規模な施設の要件に該当する施設のうち、コミュニティセンターなどは、施設でのサービス提供の必要性はあるが、利用者が特定の地区に限られており行政によるサービス提供の必要性が低下していると考えられることから、譲渡を検討する方針としています。
11	・市政にSDGsの考え方を打ち出しているが、公共施設の見直し案と整合性がとれているのだろうか。	市の施策の全てにSDGsの視点を取り入れていくこととしており、総合計画後期基本計画では、第2部の分野別計画の施策項目ごとに、関連するSDGsのゴールを掲載しています。 公共施設等総合管理計画の取組は、総合計画後期基本計画第3部のまちづくりの進め方の健全な行財政運営の推進に向けた取組の一つであり、分野横断的な考え方として、SDGsの「11住み続けられるまちづくりを」、「17パートナーシップで目標を達成しよう」に関連付けています。
12	避難所になる施設は、一部の修繕ではなく、耐久性、安全性を考慮し、有事の際にも、市民の命を守るために市民が安全に利用できるような改修を行う取組としてほしい。	施設の安全性確保は公共施設を管理するうえで、最も重要なことと考えております。 公共施設は不特定多数の方の利用を想定しており、必要な施設の耐震改修など安全確保の取組を実施してきたところです。 また、避難所指定をしている施設に関しては、災害対策基本法上の構造条件等の基準に適合している施設を指定しています。 なお、公共施設の改修について、今後も活用を見込む施設は長寿命化計画を策定し、計画的に取り組んでいくこととしております。
13	・市民だって話せばわかるので、話し合う機会を多く持って欲しい。	今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行ってまいりますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
14	<p>・ 県境に住む高齢の人が、何時間もかけて10km以上歩いて街まで通っている。また過去には、隣の県の街までタクシーで通院していた人もいた。</p> <p>施設から遠い市民への配慮も欲しい。物事を市役所から見るだけでなく、反対に周辺からの視点でも考えて欲しい。文書やデータだけで判断せず、現場に足を運んで考えて欲しい。</p> <p>ちなみに、担当者は対象施設をどのくらい実際に見たことが有るのでしょうか。</p>	<p>当市は市域が広大で、交通の要衝を中心とした町場と中山間地域に多くの集落がある地理的な要件に加え、旧市町村単位で、それぞれに公共施設の整備を行ってきたことから、県内や近隣の市と比べ多くの公共施設を有しています。</p> <p>それぞれの施設を利用される方からすると、その施設の保有の見直しは、さまざまな影響があると考えことから、今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行ってまいりますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。</p> <p>財政課でも対象施設の現地確認をしていますが、公共施設の保有見直しは、全庁的な取組であり、施設を管理する部署の意見も踏まえた内容としています。</p>
15	<p>・ 本日、具体的な話を聞いたが、もっと早く個別施設への説明等が必要と思いました。</p>	<p>今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行ってまいりますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。</p> <p>早期の取組が必要であるとの内容は、ご意見として承ります。</p>
16	<p>・ 数値的な裏付け資料があれば、考えることが出来ると思う。</p>	<p>施設保有の見直しにあたり、施設の役割や利用状況は重要な要素となります。</p> <p>見直し方針の施設情報に「年間利用者数」を掲載します。</p> <p>個別施設の保有見直しにかかる利用者や地域の方との話し合いの際には、施設評価の内容や利用状況などの資料により、共通の認識をもって課題解決に取り組みます。</p>
17	<p>・ どの施設も、設置当初は意義や必要性等があったと思う。</p> <p>だが、今回の見直し方針には20年以内の短期間で見直し対象となった施設もある。</p> <p>今後、施設を整備する際は、そうしたことも踏まえてしっかり検討し、計画していかないと今後も同様な不満や不平等がでてくるように思う。</p>	<p>新たな行政ニーズへ対応した施設サービスの提供については、総合管理計画において、次の考え方としています。</p> <p>第4章公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針</p> <p>3 公共施設等の管理に関する基本的な方針</p> <p>(2)【方針2】機能と数量の最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として、新規の整備は行わず、新たなニーズへの対応は既存施設の用途の転用や多目的化、複合化などにより対応します。新規整備が必要な場合は、併せて他の施設の縮減を検討することとし、総量が施設整備前を上回らないように努めるものとします。 ・ 老朽化等により施設の建替えを検討する際には、他施設との統廃合や複合化等を推進し、法令等に規定がある場合を除き、総量が建替え前を上回らないようにすることを基本とします。 <p>施設整備に当たっては、長期的な展望に立ち、施設の必要性を検討すべきとの内容についてはご意見として承ります。</p>

施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
18	<p>・方針策定に際し、市民個人の意見もさることながら、特にコミュニティ施設は、施設利用関係団体の意見も取りまとめ、反映してほしい。</p> <p>特に藤沢地域は、昭和50年代より各地域に自治会を組織し長年地域づくりを担ってきています。</p> <p>自治会ではそれぞれ自治会館を運営し、地区活動に取り組んでいますが、地域コミュニティセンターは地区を超えた地域の活動拠点として地域づくりの中心施設として利用されています。</p> <p>自治会活動のみならず、市の関係業務はもとより老若男女各地域関連団体が幅広く活用しています。生涯学習等に関連した集まり等も開催されます。</p> <p>藤沢地域では、各地区の自治会、諸団体の代表組織である藤沢町住民自治協議会が組織され市民センター、地域の自治会協議会ではコミュニティセンターの指定管理を受けています。</p> <p>藤沢地域のまちづくり、コミュニティづくり、生涯学習等に関わるコミュニティ施設の見直し等の策定に際しては、対象施設の見直し方針（案）を藤沢町住民自治協議会へ説明し意見を求めてほしい。</p>	<p>個別施設の取組方針は、見直し方針決定後、施設の利用者、地域の方との話し合いを行いながら検討していく際の市としての方向性であり、保有のあり方を決定したものではありません。</p> <p>今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行ってまいりますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。</p> <p>話し合いの単位は、それぞれの施設において適切な範囲を設定することが必要と考えています。</p> <p>藤沢地域の集会施設の保有見直しの具体的な取組にあたっては、藤沢町住民自治協議会の参画を得るべきとの内容については、ご意見として承ります。</p>
19	<p>・老朽化した施設は廃止でもよいが、まだ使える施設は使用した方がよい。</p>	<p>保有の見直しの取組は、少なくとも3年程度は必要と考えています。</p> <p>施設の状態を踏まえ、安全に利用可能なうちに、保有の見直しの結論を得る必要があります。</p> <p>施設の状態などから使用期限を定め、必要な機能の確保策について、利用者や地域の方と話し合いを行ってまいります。</p>
20	<p>・どんな施設でも目的があって建てられており、一度でも使えば愛着が湧いて来ると思う。自分の住んでいる地域の施設は、普段使うことが無くても廃止に反対になる。無いよりは有った方が良くになってしまう。</p> <p>・一度も使ったことの無い・訪れたこともない施設は廃止、譲渡に無関心となる。</p> <p>・施設の在り方については、感情論を入れないこと、思い入れがあっても、財源が無ければ運営維持できない、断固方針を貫くべき。</p> <p>・ただし、代替施設の検討も併せて行ってほしい。2～3の施設を廃止したら機能を集約した代替施設を、旧市町村単位で良いから代替施設を整備してほしい。</p>	<p>今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行ってまいりますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。</p> <p>保有の見直しをしっかりと進めるべき、代替施設の整備も必要であるとの内容は、ご意見として承ります。</p>
21	<p>・今あるものが変化することは希望しないと考えるが、強力に進めるべきと考える。</p>	<p>今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行ってまいりますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。</p> <p>保有の見直しをしっかりと進めるべきとの内容は、ご意見として承ります。</p>
22	<p>・個別の施設については、利用者や関係団体とよく協議し、協働の取組としてほしい。</p>	<p>保有の見直しの取組は、少なくとも3年程度は必要と考えています。</p> <p>今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行ってまいりますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。</p>
23	<p>・膝を交えた話し合いが必要と思う。</p>	<p>丁寧な説明を行うこと、協働の取組とすることとの内容は、ご意見として承ります。</p>

施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
24	・はじめから結論ありきではなく、対象施設がある地区民と十分に話し合っほしい。 市側の事情も分かるので、地区としても納得のいくものであればそれでよい。	保有の見直しの取組は、少なくとも3年程度は必要と考えています。 今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行ってまいりますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。 丁寧な説明を行うこと、協働の取組とすることの内容は、ご意見として承ります。
25	・地域の文化、歴史があり廃止される施設は十分な説明を求めます。	
26	・1期の進め方は、2期以降の方向性や考え方を具体的に示し、その中で改善していく必要があると思います。 説明会の内容では、決まっていないことの方が多く、何処に進むのかが見えず、市民の不安として残るのではないかと思います。 先ずは具体的な展開を明らかにし、良い方向に進めるための議論を重ねていくことで、前に進んでいくと思います。	それぞれの施設の保有の見直しにあたっての具体的な課題や対応の方向性について、現時点で持ち合わせておらず、今後、個別施設の利用者、地域の方との話し合いを通じて課題の把握、課題解決策の検討を行うこととしています。 市民が不安を感じないよう、市の施策の方向性を明らかにし、丁寧な議論を進める必要があるとの内容はご意見として承ります。
27	・これからの進捗確認を随時、広報紙や新聞に載せてほしい。	施設保有の見直しの取組は、施設利用者や地域を含めた市民の皆さんとの共通認識が必要と考えます。 積極的な情報発信が必要との内容は、ご意見として承ります。
28	・築何年での見直し及び修繕・売却の考え方も良いと思うが、現在の施設の使用状況を最優先に考慮していただき、少なくとも地域においては、コミュニティの拠点となっていることから、考慮してほしい。	個別施設の利用者、地域の方との話し合い（課題の把握、課題解決策の検討）の参考意見として承ります。
29	・それぞれの地域における公共施設の存続のあり様について、地域コミュニティの維持等に十分な配慮を必要と考える。効率性も必要ではあるが、施設の存否が地域の精神的支柱となる場合もあるので、地域住民との丁寧な協議を重ねた取組としてほしい。	個別施設の利用者、地域の方との話し合い（課題の把握、課題解決策の検討）の参考意見として承ります。 丁寧な説明を行うことの内容は、ご意見として承ります。
30	・市の財政面からすれば、施設を縮小・統合・廃止を考えるのは理解できるし、時代とともに施設の役割が変わることもある。 しかし、行政が運営する施設は、本来、民間が運営しても、採算があわなく住民サービスが必要という観点から運営を行っているものは多い。 施設評価の中で、床面積当たりの運営経費とか、利用者1人当たりの運営経費を入れるべきではないと思う。	施設の整備当初に、不採算ながら公共性が高いとして整備された施設についても、市民の生活様式の変容や行政ニーズの多様化をうけ、現在の市場性や民間による活用可能性の検討を通じて、最も効率的な活用方法を検討する必要があると考えます。 また、施設評価におけるサービス・コスト評価を通じた効率性の観点は、持続可能な財政運営の観点から必要と考えます。
3-(1)-①集会施設（P12～19）		
31	・公共施設と各地区にある集会所の関係もあると思う。 利用頻度の少ない施設はやはり維持管理の上から縮小・統合・廃止はやむを得ないと思う。	公共施設の保有の見直しにあたっては、市が保有する施設のみで考えるのではなく、地域にある公共的な施設や民間施設を含め、エリア全体としての施設配置の最適化を図っていく必要があると考えます。 公共施設の保有の見直しは、自治会等が保有する施設の状況も考慮する必要があるのではないかと内容は、意見として承ります。

施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
32	・現在、体育館、コミセンは避難場所に指定されていますが、災害が発生した時、地域住民はどこに避難すれば良いのでしょうか。	避難所の視点については、第1期中期計画においても、今後の方向性の検討にあたっての視点として次のとおり定めています。 「 e. 地域防災の視点から考える 既存の公共施設には、避難所等に指定されている施設が多くあります。施設の保有の見直しにあたっては、地域防災の視点も十分に考慮して検討を進める必要があります。」 なお、避難所は災害の種別・規模に応じて、その都度開設する施設を選定し、市のホームページ、FMあすも、屋外広報マストなどを使ってお知らせしますので、災害時は、市が発信する情報を確認した上で、最寄りの避難所へ避難してください。
3-(1)-①-No.10~13_大原体育館、摺沢体育館、興田体育館、猿沢体育館（P15）		
33	・大原、摺沢、興田、猿沢の各体育館は利用者が多いので、利用されている団体と良く協議する必要があると思われます。	保有の見直しの取組は、少なくとも3年程度は必要と考えています。 今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行っていきますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。 利用団体と十分な協議が必要との内容は、ご意見として承ります。
3-(1)-①-No.18_第4区集落センター（P17）		
34	・過日、室根支所より区長、自治会長へ対象施設の見直し案の説明があり、4区集落センターも、指定管理から譲渡へ移行する案であった。 市の財政が厳しいので管理費や補助金を削り、住民サービスの縮減と自治活動の活性化を提起したいものと理解したが、説明会でも同様の感想をもった。 行政と市民が財政状況と施設の抱える課題について理解を深め、次の世代に課題を先送りしないで、果敢に推進してほしい。 機会を捉えて住民への情報発信に努めていきます。ありがとうございました。	今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行っていきますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。 市民と市が共通の認識を持ち、保有の見直しをしっかりと進めるべきとの内容は、ご意見として承ります。
3-(1)-①-No.22_西口コミュニティセンター（P17）		
35	・（藤沢町西口に在住しているが、）コミセンに関しては、地域の集まる場所がなくなる事は利用状況の問題だけで判断するのは疑問です。	個別施設の利用者、地域の方との話し合い（課題の把握、課題解決策の検討）の参考意見として承ります。
3-(1)-①-No.23_西口地区体育館（P17）		
36	・藤沢町西口に在住しているが、体育館の維持管理は指定管理を受けていても変だと思ってましたので廃止もやむを得ないと思う。	個別施設の利用者、地域の方との話し合い（課題の把握、課題解決策の検討）の参考意見として承ります。

施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
3-(1)-①-No.31_保呂羽コミュニティ体育館（P18）		
37	<p>・保呂羽コミュニティ体育館について、保呂羽小学校の統合の際、地域住民の安全安心のため、災害時の避難所施設として施設を存続した経過もあります。地域には4か所の土石流危険区域、金越沢ダムもあります。近年の豪雨災害や地震災害をみると災害がいつでもどこで発生しても不思議でない状況です。万が一の備えとして、地域住民の安全安心のためにも存続し、活用させてほしい。</p> <p>地域民のスポーツ交流、地域交流のほか、他地域からの利用もあります。今後、施設の新設は有り得ないと思うので、できるだけ長く使えるようにしてほしい。</p>	個別施設の利用者、地域の方との話し合い（課題の把握、課題解決策の検討）の参考意見として承ります。
3-(3)-②-No.66_祭時スノーランド、No.67_まつるべ館、No.81_いちのせき健康の森キャンプ場、No.90_いちのせき健康の森セミナーハウス（P33, 35, 37）		
38	<p>・「健康の森」は4つの施設があって「宿泊研修施設」としての価値があるのに、各施設を個別に評価すれば、方針（案）のようになるのは当然と思う。当初は4つを1つで評価していたが、最終的に4つに分けているとのことだが、納得できない。</p> <p>採算からみれば経費縮減を考えるとと思うが、逆に市民の利用者数を多くする施策を考えるべきである。例えば、市内の学校にこの施設の積極的な利用を促すことを考えるべきと思います。</p>	個別施設の利用者、地域の方との話し合い（課題の把握、課題解決策の検討）の参考意見として承ります。
3-(5)-①幼稚園・保育所・認定こども園（P50～51）		
39	<p>・保育所は入所児童数に関わらず維持の方向で市内どの地域に住んでも子育てが出来る環境を整えないと若者は定住しない。</p> <p>この先の人口減が自然減と考えない。いかに若者層を増やせるか、市と住民が力を合わせ努力する市であって欲しい。</p>	個別施設の利用者、地域の方との話し合い（課題の把握、課題解決策の検討）の参考意見として承ります。
3-(6)-①-No.138_高倉介護予防センター（P57）		
40	<p>・市の見直し方針（案）には基本的に賛成ですが、高倉介護予防センターはぜひ市民センターへの転用してほしい。</p> <p>地域民の避難場所であり、地域から公共施設が無くなります。辺境の高齢者も一市民です。</p>	個別施設の利用者、地域の方との話し合い（課題の把握、課題解決策の検討）の参考意見として承ります。
市民説明会について		
41	<p>・質疑応答の時間が短すぎる。</p> <p>出席者に予め資料を郵送するなりして説明時間を短縮すべき。もしくは、全体の時間を長くしてほしい。</p>	説明会の進め方を効率よく行うべきとの意見について、今後の参考とさせていただきます。
42	<p>・出席者に資料前もって送付し、確認する時間がほしかった。</p> <p>開催地域の説明時間をもっとほしかった！全体的な事は資料送付で省けたと思う。</p>	

施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
43	<p>・進め方（説明会）であるが、開始から最初の30分間を基本的方針の説明にあて、その後、質問→個別施設（千厩）の説明→質問の順に進行していた。</p> <p>参加者からすれば地域の個別施設について詳しく説明を受け、必要な範囲で基本方針の説明に戻れば良いと思う。説明の順番を逆にし、基本方針の説明はボリュームもあるので必要最小限で良いと考えます。時間の節約にもなると考えますので、次回からは一考されたい。地域の個別施設毎に、「廃止」「譲渡」の方針とその内容について質疑を受けた方が理解が深まると思います。</p>	説明会の進め方を効率よく行うべきとの意見について、今後の参考とさせていただきます。
44	<p>・財政上の背景については、簡単でよい。</p> <p>地域の施設について、個別に現状と課題、今後の方向性を明らかにすることに重点をおくべきではないか。</p>	
45	<p>・マスクのせいか声が小さく聞きにくかった。</p>	ご不便をおかけし申し訳ございませんでした。適切な会場設営について、今後の参考とさせていただきます。
46	<p>・説明会の説明のなかに、施設の活用状況の説明がなかった。</p> <p>対象施設が現在どの程度の利用があるのか、場合によっては改築の場合もあるのではないかと考える。</p>	説明会の資料、説明において、利用者数や利用件数など、利用状況に関する部分が不足しておりました。施設保有の見直しにあたり、施設の役割や利用状況は重要な要素となります。見直し方針の施設情報に「年間利用者数」を掲載します。個別施設の保有見直しにかかる利用者や地域の方との話し合いの際には、施設評価の内容や利用状況などの資料により、共通の認識をもって課題解決に取り組めます。
47	<p>・使用頻度（利用状況）を考慮しないとイケない。</p>	
48	<p>・対象施設の利活用について、数値的な根拠があればもう少し理解できたかも知れない。</p>	
49	<p>・知らない施設もあり、せめて名称の後にカッコ書きで地区名を入れてほしかった。</p>	見直し方針の施設情報に字までの施設所在地を記載します。
50	<p>・わかりやすく、ていねいな説明で良かった。</p>	今後、対象施設の利用者、地域の方との話し合いを行っていきますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。
パブリックコメントについて		
51	<p>・パブリックコメントが余り周知されていないと思う。パブリックコメント終了後も「施設保有の見直し方針(案)」をホームページに掲載して欲しい。</p>	市民意見を踏まえ、方針の修正を行うことから、パブリックコメント終了後は、見直し方針（案）のホームページ掲載は控えたところです。分かりやすく、適切な情報発信の方法について、検討していきます。
52	<p>・市民が能動的に情報にアクセスすることだけを期待せず、関係者には周知するなど工夫して欲しい。</p>	積極的なパブリックコメント情報の提供については、ご意見として承ります。

施設保有の見直し方針（案）市民説明会出席者アンケート意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
53	<p>・I-style 2月1日号で見直し方針案が示されたが、方針の概要を、たった2ページで示されても、市民にとってはパブコメ意見を述べる材料が不足。もっとページを割いて説明してほしい。</p> <p>住民生活に身近な施設がどうなるのか。市民にとっては大きな関心のある内容について市のホームページを見ることができない人もあり、支所まで行って閲覧も困難。</p> <p>最も関心の高い見直し区分を廃止・譲渡等8区分に分類した取組みの考え方について、旧市町村単位に丁寧を示すべきと思う。</p> <p>「先導的な取組」対象施設の見直し方針案の個別施設の内容について、I-style折込みで居住地域の資料を示すなど広く周知に努めるべき。</p>	<p>取組みの考え方について、旧市町村単位に丁寧に示したうえで、パブリックコメントを実施すべきとのご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>方針策定後は、丁寧な周知に努めて参ります。</p>

施設保有の見直し方針の内容以外についての意見

No.	意見の概要
54	<p>・藤沢町など合併してなにが良かったのか疑問視されていると思う。</p>
55	<p>・過疎は切捨てるに思われます。市民が生きがいを感じられるような取組としてほしい。</p>